

## ライフイノベーション学位プログラムのアドミッション・ポリシー

平成 27 年 4 月 24 日  
ライフイノベーション学位プログラム  
運営委員会決定

### 1 趣旨

このアドミッション・ポリシーは、筑波大学大学院の分野を横断する学位プログラムの入学者選抜に係る基本方針（平成 24 年副学長決定）第 2 条に基づき、ライフイノベーション学位プログラム（以下「学位プログラム」という。）における教育目標及び求める人材像を明確にするとともに、入学者の選抜方針等を定めるものとする。

### 2 教育目標

学位プログラムの教育目標は以下のとおりとする。

#### （1） 博士前期課程

分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する人材を育成することを目的とする。

#### （2） 博士後期課程

分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍する人材を育成することを目的とする。

なお、教育課程については、分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍できる能力を習得させるための教育課程を編成する。

### 3 求める人材像

博士前期課程においては、一つの専門領域にこだわらない分野横断的な知的好奇心を持ち、国際的な生命環境問題解決に意欲的な学生を求める。入学する学生には、論理的思考能力、情報発信能力、及びライフサイエンスを理解するのに必要となる大学教養レベルの科学的知識が必要不可欠である。

博士後期課程においては、一つの専門分野における研究計画の立案、遂行、情報発信の能力を持つだけでなく、専門知識の異分野における活用も視野に入れた分野横

断的思考能力を持った学生を求める。入学する学生には、ライフサイエンス分野において研究経験を持ち、自らの研究内容を英語で発表、議論し、研究交流できる能力が必要不可欠である。

#### 4 入学者選抜の実施方法

学位プログラムは、募集人員10名（博士前期課程）及び若干名（博士後期課程）の少数精鋭の競争的な選抜を行う。

入学者の選抜にあたっては、多様な入学志願者に対応するため、一般入試により、募集人員を分割して筑波大学またはテレビ会議システム等において同一年内複数回の試験を実施する。

入学候補者は、口述試験（研究計画・キャリアプラン）、成績証明書、TOEIC・TOEFLのスコア票等に基づき、総合的に評価し選抜するものとする。

#### 5 入学者選抜の実施体制

入学者選抜の円滑で適正な実施を図るため、学位プログラムに入試委員会を組織し、口述・採点・選考の委員を明確にする等、入学試験の実施体制を整える。入試委員会は、ライフイノベーション学位プログラム事務室の協力の下、入学試験を実施し、実施結果により合格候補者判定資料を作成する。学位プログラム運営委員会は、合格候補者判定資料に基づいて合格候補者を決定し、グローバル教育院長を通じて学長に報告する。

#### 6 入試ミスの防止

公正な入学者選抜を実施するため、学位プログラムは、入試ミス防止マニュアルを策定するとともに、入念なチェック体制及び点検作業を行うものとする。

以上